

前週例会 (12月8日) レポート

来訪ロータリアン

高松 R C 吉田 莞爾 君

1名

ニコニコBOX 創立第2300回例会 22件 計 46,000円 累計 798,000円

- もうすぐ半年が無事終わろうとしております。皆様ありがとうございます。赤田君
- 浜さんにお世話になりました。蔭久君、吉田君、池内君、米田君
- 松村さんにお世話になりました。蔭久君、米田君
- 森さんにお世話になりました。蔭久君
- 蔭久さんにお世話になりました。石濱君、米田君
- 西山先生、楽しかったです。市原君
- 市原先生、西山先生にお世話になりました。橋本君
- 市原先生、橋本さんにお世話になりました。西山君
- 先日、父の葬儀では皆様の御心遣いに感謝致します。野村君
- 木場さんにご迷惑をおかけしました。竹中君
- 東ロータリーの優しさに触れた1週間でした。米田君
- 良いことがありました。中平君
- 少し遅れました。すみません。三好君
- 早退お詫び。市原君、石濱君、東君、池内君

会長報告

- 今日は特にこれといったご報告は無いのですが、1月30日開催のIMですが、今のところ参加者が少ないようです。1人でも多くの方の参加をお願いします。

幹事報告

- ガバナー月信差し替えと訂正のお願い
 - ・11月号ガバナー挨拶(訂正)差し替え文書 → ボックスに配布しております。
 - ・12月号3ページ「公式訪問随行記」安芸ロータリークラブ(誤)会員数21名 → 正しくは会員数29名です。
- 第2670地区ガバナー事務所・地区大会事務局・ロータリー財団事務所年末年始休暇のお知らせ
期間 2015年12月26日(土)~2016年1月5日(火)
- 例会臨時変更のお知らせ

月	日	曜	クラブ名	例会会場	→	月	日	曜	場 所	時間
12	14	月	東かがわRC	三本松ロイヤルホテル	→	12	14	月	味道源	18:30
12	15	火	観音寺東RC	観音寺グランドホテル	→	12	15	火	時間変更	18:30
12	18	金	高松西RC	JRホテルクレメント高松	→	12	18	金	栗林山荘	18:30
12	22	火	丸亀東RC	オークラホテル丸亀	→	12	22	火	オークラホテル丸亀 2F	19:00
12	24	木	観音寺RC	観音寺商工会議所会館	→	12	24	木	琴弾荘	18:30
12	25	金	高松西RC	JRホテルクレメント高松	→	12	25	金	定款第6条により休会	
12	28	月	東かがわRC	三本松ロイヤルホテル	→	12	28	月	定款第6条により休会	
12	28	月	高松北RC	JRホテルクレメント高松	→	12	28	月	定款第6条により休会	
12	29	火	観音寺東RC	観音寺グランドホテル	→	12	29	火	定款第6条により休会	
12	29	火	丸亀東RC	オークラホテル丸亀	→	12	29	火	定款第6条により休会	
12	31	木	観音寺RC	観音寺商工会議所会館	→	12	31	木	定款第6条により休会	
1	4	月	高松北RC	JRホテルクレメント高松	→	1	4	月	平安閣	18:00
1	5	火	丸亀東RC	オークラホテル丸亀	→	1	5	火	定款第6条により休会	
1	5	火	高松中央RC	高松国際ホテル	→	1	5	火	定款第6条により休会	
1	7	木	丸亀RC	丸亀プラザホテル	→	1	12	火	オークラホテル丸亀	19:00
1	8	金	高松西RC	JRホテルクレメント高松	→	1	8	金	天勝	18:30
1	12	火	観音寺東RC	観音寺グランドホテル	→	1	14	木	日時変更	18:30
1	12	火	丸亀東RC	オークラホテル丸亀	→	1	12	火	オークラホテル丸亀 12F	19:00
1	12	火	高松中央RC	高松国際ホテル	→	1	12	火	高松国際ホテル 瀬戸の間	18:30
1	12	火	当クラブ	リーガホテルゼスト高松	→	1	12	火	JRホテルクレメント高松	18:30
1	14	木	観音寺RC	観音寺商工会議所会館	→	1	14	木	観音寺グランドホテル	18:30

客話

- 「国土強靱化における企業の対応について」
 - ・香川大学危機管理研究センター 特任教授・センター長 白木 渡雄
 - ・四国防災共同教育センター長
- 平成25年12月に「国土強靱化基本法」という法律ができました。強さとしなやかさを兼ね備え、人命保護を最大の目的とした法律であります。これを受け香川県でも「香川県国土強靱化地域計画」……(他の全ての地域計画の上に位置する重要な計画です)を策定し、行政まかせでなく、産、学、官が連携し内容を作成中です。
- 香川県は全国の中でも重大災害による被害が少ない地域であり、よって重大災害の対応拠点となりうる特性を持っています。公共団体間、同種・異種企業間などの連携により、防災の為の人材育成や、経済社会が生き残る為の枠組みを構築していくことが急務であり、又このことが国際社会への貢献へも繋がっていくことになるのです。

